

有害プランクトン情報 R7-2号 第2報

赤潮警報 (唐津湾)

唐津湾 第2報

令和7年7月1日

佐賀県玄海水産振興センター

有害種であるシャットネラ属が確認されています。

7月1日の唐津湾での調査において、有害種であるシャットネラ属が確認されています。
最高細胞密度は、浜崎海岸前（0m）の296細胞/mlで、魚類に対し警報レベルです。
シャットネラ属は、魚貝類に被害を与えます。今後の天候・海況によっては、さらに増殖する可能性もあります。養殖業者等におかれましては、魚貝類の状況に注意し、以下の対策を検討してください。

魚類 養殖・蓄養	警報	・ 餌止め ・ 移動、出荷、網換え、選別の停止
【留意点】 ・ シャットネラ属は魚貝類のへい死を引き起こす非常に有害なプランクトンです。 ・ 着色域は風や潮流により移動します。 ・ 養殖や蓄養中の魚貝類の状況には十分ご注意ください。		

次回の調査は 7月3 日（木）に予定しています。

シャットネラ属（*Chattonella* spp）の特徴

- 【赤潮時期】 6月～9月
- 【出現水温・塩分】 20～34 ℃、18～34 ‰
- 【赤潮の色】 褐色～赤褐色
- 【被害密度】 約100 細胞数/mL以上
- 【被害対象】 マダイ、トラフグ、ハマチ、エビ、カニ、巻貝など



シャットネラ属

■ 次のページに、調査地点ごとの細胞密度を示しています。

有害プランクトン情報 R7-2号 第2報

赤潮警報

(唐津湾)

(2枚目)

調査年月日：令和7年7月1日

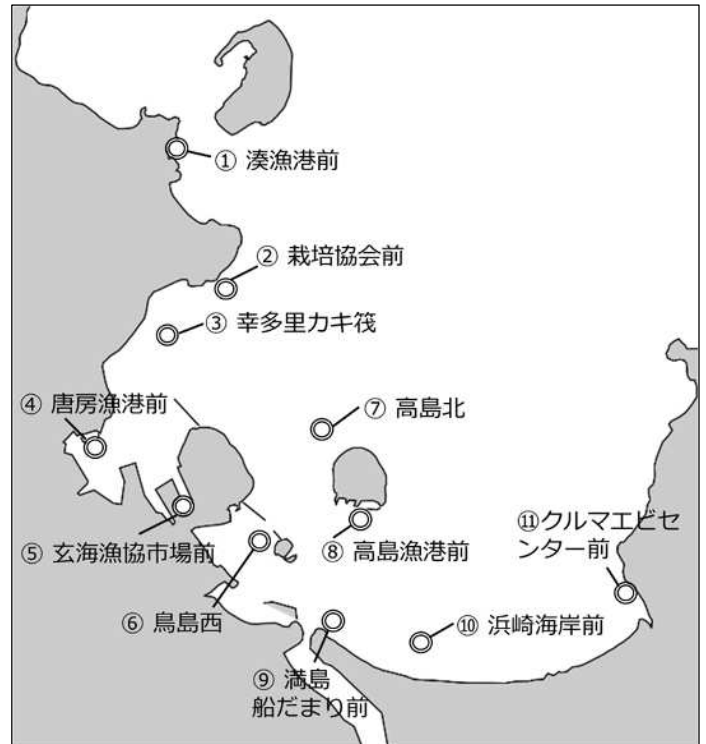
□ プランクトン細胞数

(細胞/mL)

調査地点	採水層 (m)	シャットネラ属	珧藻類
① 湊漁港前	0	0	2,300
② 栽培協会前	0	0	9,800
	5	0	—
③ 幸多里力キ筏	0	24	15,400
	5	0	—
④ 唐房漁港前	0	4	3,050
	2.5	0	—
⑤ 玄海漁協市場前	0	0	17,200
	5	0	—

⑥ 鳥島西	0	76	5,960
	5	8	—
⑦ 高島北	0	120	14,700
	5	0	—
⑧ 高島漁港前	0	82	16,300
	5	4	—
⑨ 満島船だまり前	0	40	7,340
	2	30	—
⑩ 浜崎海岸前	0	296	5,020
	5	8	—
⑪ クルマエビセンター前	0	16	5,400
	5	6	—

□ 調査地点図



シャットネラ属 の注意・警戒密度の目安

【対象：魚類・二枚貝】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：100 細胞数/mL



シャットネラ属

佐賀県玄海水産振興センター

普及加工担当 豊福、梅田

☎：0955-74-3021

(—：未計数)